

大阪工大通信 おっよど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行／学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@osho.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

おっよどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/oit/about/magazine.html>

OIT Website ▶ <https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

おっよど No.297

2025年 10月



CONTENTS

P2~3
学園祭特集「城北祭」「茶屋町祭」「北山祭」
P4~6
モノラボプロジェクト結果報告

P7
ロボティクス&デザイン工学部が国際PBLを実施 ほか
P8
私の学生時代を振り返って ほか

城北祭

(大宮キャンパス)

2025 10/17 Fri

2025 10/19 Sun



城北祭実行委員会
委員長

金子 虎太郎
(生命工学科3年)

テーマ「Find your Journey」

第77回城北祭のテーマは「Find your Journey」です。

日常生活の中でさまざまなことを見聞きして経験し成長していく過程を旅路に見立て、来場者の皆さまがそれぞれの旅路を振り返ったり未来に思いをはせたりする空間にしようという思いを込めています。そのため、昔懐かしい時代を振り返るものや先進技術に触れて未来を想像できるようなものなど、多彩な企画を展開します。その他、昨年好評だったカードゲーム大会に加え、新たにカラオケ大会も開催します。

また、毎年恒例の工学祭（学術系団体による研究発表）、音楽祭（音楽系団体による演奏）、芸能祭（芸術系団体によるパフォーマンス披露や展示）は文化会本部が主体となって実施します。審査員による審査の結果、優秀な成績を収めた団体には表彰状と副賞が贈られます。

例年多くの人でにぎわう東中庭の模擬店エリアは昨年度よりもパワーアップします。店舗数が増えるとともに、ご飯やスイーツなどバリエーション豊かな店舗が並ぶこととなります。ぜひ、食べ歩きをお楽しみください。

更に、17日（金）は19時から東中庭でキャンドルナイトを実施します。大阪・関西万博にちなんだキャンドルアート作品が夜のキャンパスを彩るとともに、来場者の皆さまと作るアートも制作予定です。

日中はもちろん夜も楽しめる城北祭。ご家族やご友人などお誘いのうえご来場ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

その他にも楽しい企画を
たくさん展開します！



昨年度、芸能祭で
学長賞を受賞した書道部の作品

企画名（場所）	日時	
開祭式（東中庭ステージ）	10/17	10：00
模擬店（東中庭）		
平成おもちゃ（6号館16階）		
カードゲーム企画		
謎解き（キャンパス内全域）		
工学祭（6号館1階）	10/17～10/19	10：00～17：00
音楽祭（東中庭ステージ等）		
芸能祭（6号館15階等）		
GR Garage 神戸垂水コラボ企画 （西中庭、5号館1階）		
防災フェスタ（西中庭）	10/18～10/19	10：00～17：00
カラオケ企画（東中庭ステージ）	10/18	16：00～18：00
ゲストトークショー（OITホール）	10/18	11：00～13：00
閉祭式（東中庭ステージ）	10/19	17：00

※企画の日時は変更する場合があります。

詳細は城北祭実行委員会のSNSで随時更新しています

Instagram ▶



X (旧Twitter) ▶



昨年度のキャンドルナイト

茶屋町祭

(梅田キャンパス)

2025 10/19 Sun
10:00~16:00 (予定)

茶屋町祭実行委員会
委員長

細澤 孟留
(システムデザイン工学科3年)

テーマ

「Next Palette」

ゲストステージ企画

観覧
無料!

開演 13:00 (予定)
場所 梅田キャンパス3階 常翔ホール
出演 声優トークショー

コンサート

ピアノの会による演奏

開演 11:00/15:00 (2部制) 予定
場所 梅田キャンパス3階 常翔ホール

Instagram ▶
https://www.instagram.com/oit_chayamachi/



X (旧Twitter) ▶
https://x.com/oit_chayamachi



梅田キャンパスの学園祭「茶屋町祭」の今年のテーマは“Next Palette”です。このテーマには、“茶屋町で活動されている皆さまの個性を色に見立て、茶屋町の未来を彩る学園祭を作っていこう!”という茶屋町祭実行委員会の思いを込めています。皆さまに学園祭を存分にお楽しみいただけるよう、心を込めて準備しております。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

企画・展示

- ・フリーマーケット、抽選会、電子工作ワークショップ、キッチンカー (茶屋町祭実行委員会)
- ・縁日 (OIT 梅田ボランティア部)
- ・ロボット操作体験 (梅田ロボットプログラミング部)
- ・esports 体験 (OIT 梅田 esports プロジェクト)
- ・展望カフェ (常翔ウェルフェア)

前日 10/18 (土) 17:00~20:00 空間デザイン研究部によるキャンドルライトの予定
※企画・展示等の内容は変更する場合があります。

(枚方キャンパス)

北山祭

2025 11/3 Mon 祝
10:00~17:00 (予定)

北山祭実行委員会
委員長

難波 柊人
(データサイエンス学科3年)

テーマ

「勝氣 (しょうき)」

北山祭
ステージスケジュール

課外活動団体
企画・展示

時間帯	プログラム
10:00~	開祭式
10:30~11:00	ウインドアンサンブル
11:10~11:40	マジックショー 1部
11:50~12:20	ストリートダンス部 によるパフォーマンス
12:30~13:00	ジャグリングクラブ TOSS によるパフォーマンス
13:10~13:40	吉本芸人による お笑いライブ
13:55~14:20	マジックショー 2部
14:30~15:10	軽音部によるライブ
15:20~16:20	ビンゴ大会
16:40~17:00	閉祭式

写真部
ジャグリングクラブ TOSS
ウインドアンサンブル
軽音部
文化表現部
ubiquitous Robot Lab
Creative Sound Lab
Visual Acanthus Creation
OIT パーチャルライブ研究会
模型部
写真部
HXS コンピュータ部
※当日の企画・展示等は
変更する場合があります。

第28回北山祭のテーマは「勝氣 (しょうき)」です。

「勝」は勝負に挑み前へ進む力を、「氣」は旧字体を用いることで、心から湧き上がる情熱や想いを表しています。このテーマには、北山祭へ関わる方々の中にある“挑戦する気持ち”を呼び起こしたいという願いが込められています。

今年の北山祭では、コロナ禍以前の賑わいや熱気を取り戻すことを目指し、準備を進めてきました。模擬店や展示に加え、マジックショーや移動動物園など、幅広い世代が楽しめる企画も用意しています。

更に、地域の方々や企業とも連携し、更なるイベント全体のクオリティ向上にも努めてきました。新たな取り組みに挑戦する中で、実行委員一同、それぞれの「勝氣」を胸に、活動に取り組んできました。

こうした「気持ち」や「挑戦」、「想い」を形にしたものが、今年のテーマ「勝氣」です。

世代や立場を超え、皆さまが心をひとつにして楽しめる北山祭となるよう、実行委員一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

北山祭実行委員会 HP ▶
<https://www.oitkitayamasai.net/>





人力飛行機プロジェクトが 「Iwataniスペシャル第47回鳥人間コンテスト2025」で 2位の好成績をおさめました

7月26日、27日に滋賀県彦根市の松原水泳場特設会場で開催された読売テレビ主催「Iwataniスペシャル第47回鳥人間コンテスト2025」の人力プロペラ機部門に本学の人力飛行機プロジェクトが出場しました。

今年の「人力プロペラ機部門」には14チームが出場。本学は念願の旋回点通過と大工大記録の樹立を目標に大会に臨みました。

競技当日は、早朝から強風が吹き、人力飛行機の飛行には難易度が高い環境下でのコンテストとなりましたが、プラットフォーム離陸後から順調なフライトで飛行距離をぐんぐんと延ばし、念願の旋回点に到達し、見事に初の旋回を達成しました。

一年間、チームを率いてきた梅本大次郎さん(工学部機械工学科3年)は「大会までの1ヶ月間は定期テストや万博準備もあり、一瞬で過ぎていきました。その中でも部員全員が必死に準備し、OBの手も借りながら大会に臨むことができました。結果として11804.81mで14チーム中2位。大工大史上初の旋回を行うことができました。この結果を出せたのは、大会に参加するための手続きをいただいた大学職員の皆さま、大阪・関西万博や大会に協力していただいたOB・OGの皆さまのおかげです。ハードなスケジュールでしたが協力していただいた関係者の皆さま本当にありがとうございました。」と感謝の言葉を語ってくれました。



Iwataniスペシャル 鳥人間コンテスト展 — 知る 見る 触れる 人力飛行機の世界 — に出展しました

7月23日～25日に2025年大阪・関西万博の催事会場EXPOメッセ「WASSE」で「鳥人間コンテスト」の世界を間近で体感できる展覧会「Iwataniスペシャル 鳥人間コンテスト展 —知る 見る 触れる 人力飛行機の世界—」(主催:読売テレビ放送株式会社)にて、本学の人力飛行機プロジェクトが2019年の鳥人間コンテストで優勝した滑空機部門に出場した機体、および、プロペラ機3号機のcockpit部を間近で見学できる機体展示を行いました。また、両翼幅が30mの翼の軽量感を翼の一部を実際に手に持って体感できるアトラクションや、本学の学生らによる「スチレングライダー作りと飛行体験」のワークショップを実施しました。

来場者は3日間で3万人を超え、ワークショップは1800機を制作するなど、盛況なイベントとなりました。チームリーダーの梅本大次郎さん(同)は、「老若男女沢山のお客さんが来場され、時には英語が必要なこともあり苦戦しましたが、OBの協力もあり無事乗りきることができました。」と感想を語ってくれました。





ソーラーカープロジェクト

「ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ (BWSC) 2025」

世界最高峰の舞台に挑戦、初出場で完走の快挙

8月にオーストラリアで開催された世界最高峰のソーラーカーレース「ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ(BWSC)」チャレンジャークラスに初出場し、全長約3,000kmの過酷なレースを見事完走しました。

レースはダーウィンからアデレードまでオーストラリア大陸を縦断する長距離耐久戦。レース前には厳格な静的・動的審査(車検)が課され、初回は9分野のうち4分野のみ通過。残りの5分野の指摘箇所は迅速に修正し、2回目で全項目をクリアして出場権を得ました。

予選のタイムアタックでは、全体22位、同クラス27チーム中17位と健闘したものの、車体損傷などのトラブルが発生し、チーム内に不安と緊張が走りました。その時、リーダーの宮大岳さん(電気電子・機械工学専攻 博士前期課程2年)が「今はやるべきことをやれ」とメンバーへの檄で再びチームの士気が高まりました。

レース初日は電源トラブルに見舞われながらも、チームワークで出走に成功。続く日々も快晴や強風、曇天、巨大なトラック走行による風圧など、過酷な自然環境と戦いながら、毎日500km以上を走破。特に3日目には最長の561kmを記録し、安定した走行で完走に向けて着実に距離を重ねました。

4日目以降は天候が悪化し、中でも5日目は曇天と強風により発電が困難となったため、早めに走行を切り上げ充電に集中するなどの戦略をとり、柔軟かつ冷静な判断で難局を切り抜けます。

迎えた最終日は、暴風雨の中の走行となりましたが、ドライバーは安全を最優先に走行を継続し、仲間の想いと技術、執念を結集し、今大会最後の完走チームとして、ついにアデレードのゴールに到達しました。総走行距離は3,021.5km、最終順位は14位。学生らは涙を流しながら抱き合い、挑戦の終わりをかみしめました。

BWSCは単なるレースではなく、「技術」「判断力」「協働力」が問われるサバイバルチャレンジであり、持続可能な個人移動手段を実現するという世界最高峰のイノベーション課題へのチャレンジでもあります。学生らは車両の設計・開発・製作やチーム運営だけでなく、現場で絶え間なく発生する困難を前に冷静に判断し対処する力、仲間と支え合い乗り越える力が試される場でもあり、それらを大きく伸ばしました。この成果は学生の努力に加え、指導教員、大学関係者、協賛企業、そして応援してくださった皆さまのご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。



ソーラーカープロジェクト・BWSC
特設サイトはこちら





「レスキューロボットコンテスト2025競技会本選」で、 数々の賞を受賞!

8月9日(1stステージ)・10日(2ndステージ・ファイナルステージ)、神戸サンボホール(神戸市中央区)で開催された「レスキューロボットコンテスト2025競技会本選」に本学のロボットプロジェクト(チーム名:大工大エンジュニア)と梅田ロボットプログラミング部(チーム名:UP-RP)が出場しました。

「大工大エンジュニア」は全機体の動作確認を完了していたものの、1stステージではトルクが外れる問題が起き、理想とするレスキュー活動ができませんでした。翌日のファイナルステージに向け問題把握と改善を行った結果、全機体が動作し、それぞれのベストパフォーマンスを魅せ、移動および救助機構、遠隔操縦システムなどに優れたロボットに与えられる「ベストロボット賞(日本ロボット学会特別賞)」を3号機「Solaris」が受賞できました。

レスキュー班リーダーの徳野陽也さん(ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科3年)は「リーダーとして、各班員の意見をしっかり聞く場をつくり、不安や不満を解消しながら、気持ちよく大会に全力で臨める環境づくりを意識しました。私自身、「NHK学生ロボコン」終了後にレスコンへ復帰したため、2年生たちが積み上げてきた努力に短期間で追いつかなければと必死でした。その中で3号機の調整に力を入れ、仲間と肩を並べて大会に挑めたことがとても大きな経験になりました」と語ってくれました。

また、内藤千結さん(同)がチーム戦略などについて、優れたプレゼンテーションを行ったスピーカーに与えられる「ベストプレゼンテーション賞」を2年連続で受賞しました。「『昨年の自分』というハードルを『超えなければ』という想いでプレゼン制作に取り組みました。大会当日、昨年より全チームのプレゼンテーションの質が向上しており、相当焦りました。1stステージではトラブルも多発し思うようなプレゼンができなかったですが、臨機応変に対応し、ファイナルステージではいつも通り落ち着いて臨むことができました。大会初の2年連続で賞をいただくことができ、とても嬉しく思います。大会全体のプレゼンテーションのレベル向上に貢献できたと思います」と満面の笑みで語ってくれました。

「UP-RP」は全機体の動作確認のときに問題が無かったものの、1stステージでは1号機のタイヤを動かすモータが動かないことがありました。2号機が多脚型ロボットは階段を昇っている際に脚の先端が取れるといったトラブルが起き、上手く階段を昇れませんでした。翌日の2ndステージでは、ロボットの役割をもう一度見直して、レスキュー活動を行いました。2号機を運搬する3号機が途中で動かかないというトラブルもありましたが、2号機は1stステージ以上に階段を昇ることができました。

リーダーの西本裕亮さん(同)は「ファイナルステージに進めませんでしたが、自分たちのベストは出せました。自分たちのアピールポイントだった「ダミヤン(人形)ではなく人間を救う救助」を提案したことで「第二十一回競基弘賞レスキューロボットコンテスト奨励賞((特非)国際レスキューシステム研究機構)」と「レスコンメモリアルプライズ/アイデア賞」を受賞できたことがとても嬉しかったです。応援して頂きありがとうございました」と語り、「ダミヤンを救助することができなかったことがとても悔しかったので来年はダミヤンを救助してほしいです」と今後の活動への意欲をみせました。





ロボティクス&デザイン工学部 国際PBL（課題解決型学習）を実施

ロボティクス&デザイン工学部では、8月に2つの国際PBLを実施しました。

一つは、台湾・国立雲林科技大学の学生を梅田キャンパスに迎え、「デザイン思考を基にした高齢者支援」をテーマに開催。高齢者疑似体験や人々の健康と生活を支える最先端の技術を持つ企業を見学し、そこで得た知識を活かして、両大学の混合チームで解決策を探りました。

もう一つは、タイ・タマサート大学シリントーン国際工学部を訪問し、「レスキューロボットの理解と実装」をテーマに開催。現地の学生とともに、災害現場で活躍するロボットの機構や現場を探索する方法の実現などを目指し、チームでロボット製作に取り組みました。

これらの国際PBLを通じて、参加した学生たちは専門知識だけでなく、国際的なコミュニケーション能力と実践的な課題解決力を養いました。



集合写真（台湾）



レスキューロボットを
共同製作する様子（タイ）



枚方キャンパスで「サマー安全セミナー」を開催しました

7月9日、情報科学部事務室と保健室は、各課外活動団体の代表者28人を対象に、サマー安全セミナーを開催しました。このセミナーは、夏期休業期間中の課外活動での事故防止を目的としています。第1部では、保健室から怪我の応急手当についての説明があり、心肺蘇生法やAEDの使い方などを体験。第2部では、情報科学部事務室の職員から夏休みの活動中における事故発生時の対応について、本学クラブマニュアルに基づき事故対応・緊急連絡体制を再確認したほか、個人情報の取り扱いの重要性についても確認が行われました。セミナー終了後は、枚方寝屋川消防組合から入門コースの参加証が交付されました。

参加者からは、「緊急時のために応急手当の方法が学べて良かった」などの感想があり、応急手当の理解を深めるなど貴重な時間となりました。



図書館で ライブラリーランチミーティング開催 —オススメ本などを語り合う—

図書館ではライブラリーランチミーティングを7月1日（大宮本館）、7月10日（枚方分館）開催しました。寺地図書館長と本に興味のある学生、教職員らが参加し、ランチを食べながら持参したオススメ本を紹介するなど、自身の本への思いを語り合いました。

参加した学生は「読んだことのないジャンルの本も読みたいになりました」「図書館でたくさんの本と出会うのが楽しみです」などと語ってくれました。



オススメ本を紹介する参加者（大宮）



「全国大学ビブリオバトル2025予選会」 開催のご案内

図書館大宮本館では「全国大学ビブリオバトル2025」の関西Cブロック予選会を、城北祭開催期間中の10月18日11時から、ラーニングcommons6（5号館6階）で開催します。優勝者は関西Cブロック決戦の出場権を得ることができ、全国大会出場の可能性が広がります。

発表者は事前登録が必要ですが、観戦は誰でも申込み不要のためぜひお越しください。



昨年度の予選会



2026年春 海外研修 参加者募集 （2～3月） ～国際交流センター～

現在、参加者を募集しています。条件を満たせば、参加費の一部支援、単位認定があります。説明会の動画・資料はGoogle Classroomに掲載しています（コード：qnkdvmb）。

【語学研修プログラム】

語学学校で集中的に英語を学ぶ・現地で日本語サポート有

- ①フィリピン語学研修（マンツーマンおよびグループレッスン、語学学校の寮）
- ②カナダ語学研修（グループレッスン、ホームステイ）
- ③フィリピンオンライン語学研修（マンツーマンレッスン、渡航なし）

【海外大学提供プログラム】

海外の大学で英語＋αを学ぶ

- ①サンフランシスコ州立大学（2/3/4週間、ホテル）
- ②オックスフォード大学（2/3週間、ホームステイまたは大学寮）

【シリコンバレーInnovationプログラム】

文化歴史探訪、スタンフォード大学・日系企業訪問、SFベイエリア・フィールドリサーチほか（6日間、ホテル）

申込方法：Google Classroom内の募集要項を参照（ログイン必要）

締切：2025年11月5日（水）17:00

問合せ：国際交流センター

Email：oit.kokusai@joshu.ac.jp





ロボティクス&デザイン工学部長(研究科長兼務) 倉前 宏行

私の学生時代、特に旭川高専での学生生活は、吹奏楽部の活動に明け暮れる毎日でした。入学式の吹奏楽の演奏に魅了され、音楽経験がまったくなく楽譜も読めない状態にもかかわらず入部しました。担当はクラリネット。先輩に一から教えていただきながら練習を重ねるうちに、音楽、特に仲間と一緒に合奏する楽しさにすっかり引き込まれていきました。部活だけでは物足りず、市民団体にも複数所属し、学校行事の演奏や吹奏楽コンクールへの出場、定期演奏会の企画や練習など、慌ただしくも充実した日々を過ごしました。卒業のころには、周囲から「吹奏楽部クラリネット科の卒業だ」「その熱意をもう少し勉強に向ければ良いのに」と笑われました。

大学に編入してからは勉強や研究が忙しくなり、練習や演奏の機会は大幅に減りましたが、音楽に没頭する集中力や、目標に向かって計画的に取り組んできたことは、研究を進める上でも大いに役立ちました。皆さんも、仲間とともに何かに夢中になり、最後までやり遂げる経験を重ね、有意義な学生生活を送ってください。

学生相談室
だより

言いたいことを言えていますか？

学生相談室カウンセラー 友尻 奈緒美

友達とおしゃべり、家族との生活の中で、あるいは仕事上のやり取りなど、私たちは日常的に色々な会話をしていますが、みなさんは自分の言いたいことをきちんと言えていますか？何気なく話しているふりをしながら、頭の中では「相手の話を遮ったら悪い…」「こんなことを言ったら嫌われるだろうか…」などと様々な思考を巡らして、気が付いたら相手に同調しているだけで話が終わってしまった、ということはないでしょうか？

もちろん、相手と良好な関係を築くために気を配ることは大事なことです。ただ、必要な時に自分の考えや気持ちを伝えられないでいると、相手に誤解されてしまったり、自分にとって不都合な状況が生まれてしまったり、フラストレーションを抱えてしまったりすることがあります。

ここで紹介したいのが「アサーション」という概念です。「アサーション」とは自他の権利を侵さない限り、自己表現をしてもよいという意味で、誰もが生まれながらにして持っている権利とされています(平木,2007)。日頃、「相手の気分を害してはいけない」「場の空気を壊してはいけない」といった他者優先の思考になりがちな人は、自分も自己表現の権利をもっているという前提に立ち返ってみましょう。相手の話を聞くだけでなく、自分の考えや気持ちを伝えてみると、相手もハッと気づくことがあったり、新しい展開が生まれたりするかもしれません。自分も相手も大切に「アサーティブ」な会話についてもっと知りたい人は、ぜひ書籍等で調べてみてください。

【引用・参考文献】平木典子著(2007)「図解 自分の気持ちをきちんと伝える>技術 人間関係がラクになる自己カウンセリングのすすめ」PHP研究所
平木典子著(2021)「三訂版 アサーション・トレーニング 一さわやかな〈自己表現〉のために」日本・精神技術研究所

常翔ウェルフェアニュース

JoshoWelfareNews

第4弾 学生応援企画

「100円ランチ」

(株)常翔ウェルフェアでは、工大摂大学生互助会からの補助により、年4回「100円ランチ」を皆さんに提供しています。

第4弾となる今回は、11月24日の和食の日にあわせ「味噌汁」を使用した「和食ランチ」としました。

発酵食品には、整腸作用や免疫力up、ストレス軽減などの効果が期待できます。

11月10日(月)～11月14日(金)の5日間販売予定です。

ぜひ各食堂へ足をお運びください。

※提供場所

大宮キャンパス:中央食堂

枚方キャンパス:カフェテリア北山

梅田キャンパス:菜の花食堂



11月提供「和食ランチ」
牛乳寒天(いちごジャム)付き

工大流就職支援 72

～就職NEWS～

このほど、2025年3月卒業・修了生を対象とした全国大学「実就職ランキング」が公表されました。本学は実就職率97.9%で、卒業生数1,000人以上の国公立大学を対象としたランキングで全国4位に、また、関西の私立大学では16年連続1位となりました(「大学通信オンライン」2025年7月掲載)。

この結果は、本学の教育により「研究力」「専門知識」「社会人基礎力」を身に付けた学生を、企業が高く評価したことによるものです。また、もう一つの要因としては、学生の皆さんが、キャリア支援課における様々な就職サポートを活用したからです。すべての学科・専攻に配置している専属のスタッフが、すべての学生に対して履歴書・エントリーシートの添削や面接練習を行うなど、きめ細やかなサポートが学生の就職力に結びついています。

本学では、学生の皆さんが安心して就職活動に臨めるように、これからも全力でサポートしていきます。どんな些細なことでもよいので、いつでも気軽にキャリア支援課を訪ねてください。